

福 井 県 医 師 会

だより

第653号 平成27年(2015)11月



錦繡の八甲田 福井市 吉村 信

表紙写真説明：錦繡の八甲田

福井市 吉村 信

秋晴れの日、紅葉に名高い八甲田を訪れた。標高1324mの<sup>たもやち</sup>田茂泡公園駅へのロープウェイに乗ると、車窓からは津軽富士と言われる岩木山、津軽・下北両半島、陸奥湾が360°の大パノラマとして眺められた。折からの朝日を浴びたブナの原生林の紅葉は、錦繡と呼ばれるに相応しい輝きを見せた。

眺望、スケールどれをとっても日本一の紅葉と言ってよいと思われた。

岩木遥か 錦繡纏う<sup>まと</sup> 八甲田

## 醫 縫 録

# 福井市医師会長就任挨拶

福井市医師会長 安川 繁 博



6月の福井市医師会定時総会において三崎明孝前会長の後任として福井市医師会長を拝命いたしました。就任後3カ月たちましたが会員数500名を超える医師会の長としての責任の重さを痛感しています。福井市医師会の特徴としては住民健診センター、看護専門学校、休日急患センターなどの諸事業を行っていることですが、これらの事業に関する会議、市との諸会議、理事会など覚悟はしていたとはいえなかなか多忙です。加畑会長、三崎会長のときに一般社団法人への移行、ブロックの再編成、医師会館の建設問題などの重要な案件はだいたい片がついていて少しは楽ができるかと思っていましたが問題とは次から次へと出てくるものようです。

今医療界をとりまく大きな問題としては国が掲げている地域医療構想の策定と地域包括支援システムの構築があります。病床数の削減（削減まずありきではないとされています）と在宅医療の推進、この二本柱の政策が2025年に向けて進められる事になり、地域医療構想の調整会議も開催され始めていますが、病院・有床診療所それぞれの施設の規模や機能の違い、地域の違いがあり簡単にまとめられない問題も多いことと思われまふ。県医師会、郡市医師会の先生方と協力しながらしっかり対処していかなければと考えています。

次に問題と考えているのはこれからの医師会の在り方ということです。ずいぶん大きくて難しいテーマですが、医師会会員の減少、高齢化が確実に進んでいく中、考える必要があることと思われまふ。日本医師会でも研修医の会費を減免して会員の確保を図ろうとしていますが、若い先生方に対し医師会入会のメリットや活動内容を周知させていくことが大切なことと考えまふ。福井市医師会では開かれた医師会を目指すということで三崎会長の時から全会員に向け

て毎月開催されている理事会の内容を理事会報告として送ってまふました。概ね好評のようですが更に進んで多くの先生方の意見を直接聞くため、今回医師会活動に関して多岐にわたる内容で福井市医師会の全会員にアンケート調査をおこないまふました。まだ結果はまとまっておりまふませんが、12月に福井市で開催される金沢市、富山市との3市医師会協議会の場でも議題としてとりあげ、その結果を今後の医師会活動の充実、会員の増加につなげることができればと考えています。

私ごとではありまふますが今年1月で還暦となりました。赤いちゃんちゃんこは拒否しましたが好きなゴルフでは今年1年赤い服で通してまふしています。練習はせずぶっつけ本番というのが続いてまふますが、会長就任以来なぜか成績は良好です。体重が増えてしまふ今すぐは無理ですが機会があればフルマラソンにもまた挑戦したいと考えてまふいます。体力にはまだまだ自信があります。

福井市医師会では今年から来年にかけて市民公開講座、郡市医師会長懇談会、3市医師会協議会、福井県医学会など市医師会が主催するイベントが盛りだくさんです。新しい医師会館の完成式典もありまふます。医師会長としてはまだ不慣れで分らないことも多々ございまふますが、諸先生方のお力をお借りして一つ一つ課題をクリアしていきまふたいと考えておりまふます。どうぞよろしくお願ひいたします。